


## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森第二養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	「データを活用して、表やグラフを作ってみよう」		
	単元(題材)の目標	(1) 表やグラフの意味が分かり、必要な情報を読み取ることができる。 (2) 表やグラフから、事柄の多少を比べることができる。 (3) グラフの内容やその特徴に関心をもって、生活や学習に活用しようとする。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	1 年 3 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・PCやタブレット端末で調べ学習をしたり、動画を見たりすることが好きであるが、文字入力やグラフの作成の仕方は分からない生徒がほとんどである。 ・全体指示により理解して行動に移すことができる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 PC		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Excel、Word	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	・ニュース等で使用されているグラフからデータを読み取ることができるようになる。 ・普段、好きなアイドルやその年齢等を手書きの表で書いて楽しんでいる生徒がいるが、線が曲がる、誤字脱字等が見られる。エクセルを使うことにより、きれいで正確な表を作れる経験をするにより、余暇の過ごし方を考える。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 活用場面 ・自分の興味のある事柄に関する数値を調べる。 ・調べた数値から、表を作る。 ・表からグラフに変換する。 支援 ・表作成における説明や個別での支援。 ・発表をする際の手助けや支援。			